令和元年度 在宅医療・介護連携推進事業上半期活動紹介

令和元年6月25日に第1回事業推進委員連絡協議会を開催しました

事業開始4年目を迎え、運営体制についての見直しや、継続して進めて行く事、更に充実を図る項目や、新たな取組について協議が行われました。加えて、新年度に向けた活動計画について具体的な、意見や提案が出され有意義な会議となりました。

いちき串木野市医師会 会長 丸田修士先生より、

平成28年度事業開始から3年間を一区切りとし今年度新たなメンバー加わりスタートしていく 事業そのものは今後も継続し必要とされるものである。医療と介護、行政含め多職種の途切 れることなく事業を推進し、連携を図って行っていただきたい。との開会挨拶の基、協議がお こなわれました。





* 令和元年に事業取り組み4年目を迎え、運営体制の推進チーム編成を新たに変更し、今年度からの活動を進めて行く事となりました。

令和元年9月3日第1回推進チーム連絡会議を開催しました

今年度チーム員として医療、介護の多職種43名の参加をいただきました。まず、在宅推進に向け取り組んで行くべき項目が提案されました。その項目をもとに7チームが編成され、活動を進めていく事となりました。







各チームの取り組みに向けたアクションプランが活発に提案されました。後半期は、実施に向けたミーテイングや、情報ツールを駆使し、活動を進めています。